

はじめに

介護保険制度の施行開始以来、福祉用具の利用件数は増加していますが、利用者の裾野が拡大するとともに、福祉用具利用に伴う事故の増加が懸念されています。昨今、特殊寝台や電動3・4輪車の重大事故が報告され、福祉用具利用に伴う事故に対する社会的な関心が急速に高まっています。

福祉用具の安全な利用には、製品の安全性向上とともに、利用者に適合した用具を選定、導入し継続的に利用状況を確認するといった福祉用具専門相談員の役割、そして利用者側の意識喚起も重要と考えられます。事故を防ぐためには、福祉用具の利用に際して福祉用具の専門家や事業者が適切な情報を提供し、たとえば、事故の起こりやすい状況に関する情報や、利用者に適合した用具を正しく使用しなかった場合の危険性なども周知することが重要です。

この「**安全利用推進マニュアル**」は、福祉用具専門相談員の皆様が個々のケースで安全利用を推進する際に役立つように、現場での用具選定や利用指導をする際の参考にしていただくことを想定して作成しました。18年度以降に蓄積された事例をもとに事故やヒヤリ・ハットが発生しやすい状況や、福祉用具専門相談員の業務プロセスにおける留意事項、および具体的な事例などをご紹介します。

このマニュアルが提供する安全利用のためのノウハウが、少しでも多くの福祉用具関係者で共有され、個々のケースでの用具選定や安全利用の指導に役立てられることを祈念しています。